



愛知県立一宮高等学校 生物部

本活動、「起小ジャブジャブ池を生まれ変わらせよう大作戦」は、一宮市立起小学校の校長先生のお声かけから始まり本校生物部のほか様々な機関が協力しながら進められています。起小学校は木曾川に近い場所に位置している関係から環境学習が盛んに行われています。

活動が始まる前の池は、ギンブナとカダヤシというたった2種類の魚しか生息していませんでした。そこで、生物多様性の無いジャブジャブ池を、多様な生物が生息するワンドのような環境に児童・生徒が協力して改変し、児童が校内で木曾川の環境を学べるようにすることが本活動の目的です。活動内容は、どんな環境を作るかの話し合い、従来の池の拡張、国土交通省の許可のもとでの木曾川の砂や石の調達及び池への配置、ワンドの植物や魚の採取及び池への植え付けと放流です。どの活動も、児童・生徒・有識者で協力して行われ、児童は話し合いで主体的に意見を出し、生物に興味津々な様子でした。現在は、魚の放流を終え様々な生物が池の中で暮らしています。しかし、現在の状況でジャブジャブ池が完成したわけではなく、さらにたくさんの生物が生息できる環境に、そして児童により環境に興味を持ってもらえる工夫をするなど池を改変できるように活動を続ける必要があります。

今後も、児童・生徒との人との関わりを大切にしながら環境教育の推進のための地域づくりに貢献できるように活動に取り組んで参ります。(部員代表生徒より)



R5.9月 高校生が一宮高校中庭で捕まえたモツゴやエビを越小学校4年生と一緒に放流しました。



国土交通省の許可を得て、木曾川から採取した植物を高校生が植えました。



R4.12月 木曾川の環境に詳しい(株)建設環境研究所の方々 の指導の下、越小学校の児童の皆さんと一緒に池にU字溝、土壌を入れて、池底の基礎を作りました。